

共同住宅等 / 仮想性能評価調査結果総括

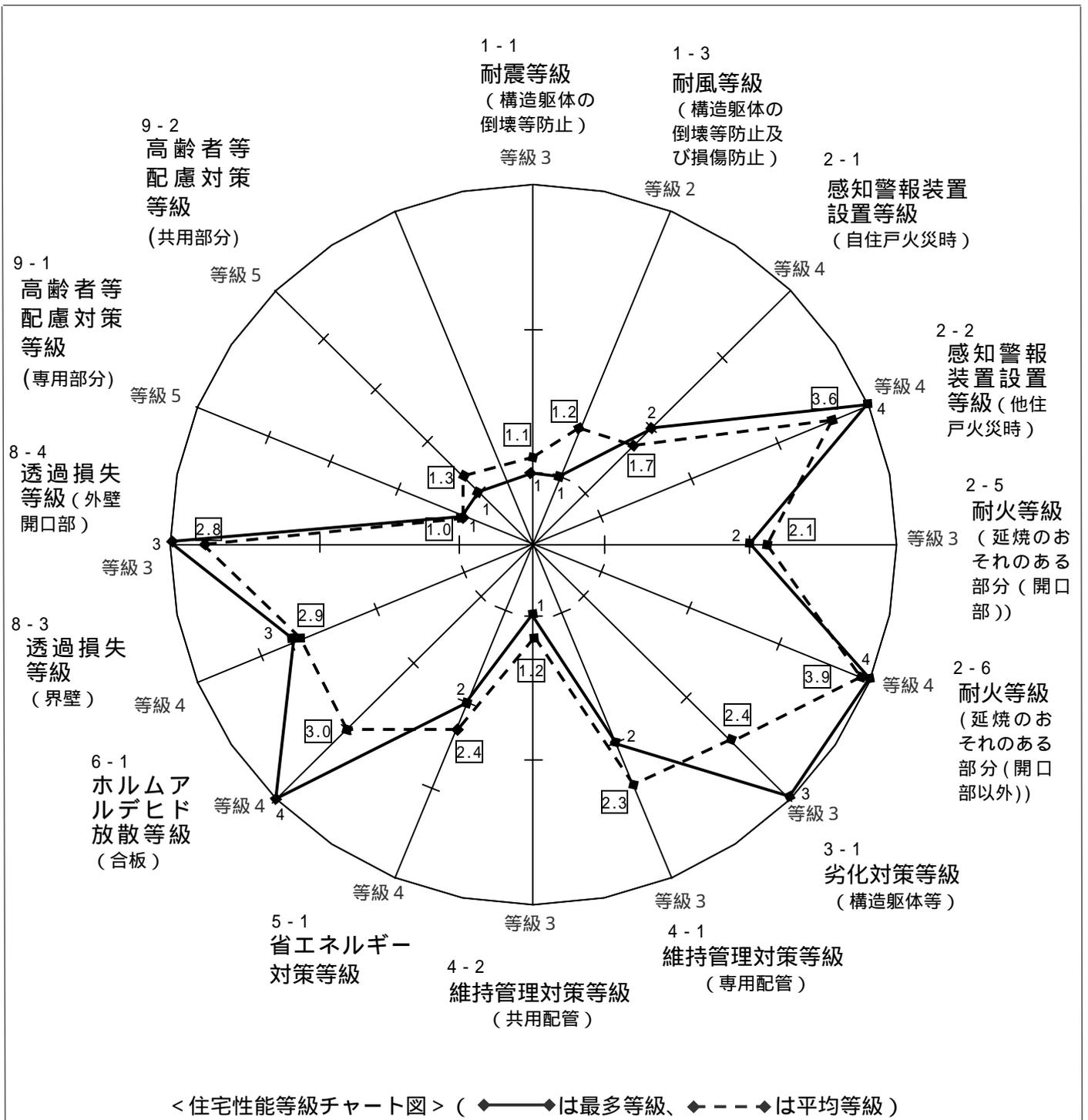
調査対象

対 象	中高層分譲共同住宅（計 100 棟、100 戸）
建 設 地	東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県
供給時期	平成 11 年 1 月 1 日～12 月 31 日

集計表

		該当なし	等級 1	等級 2	等級 3	等級 4	等級 5	不明	合計	最多等級	平均等級
1-1	耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)		91	5	0			4	100	1	1.1
1-2	耐震等級(構造躯体の損傷防止)		90	5	0			5	100	1	1.1
1-3	耐風等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)		70	22				8	100	1	1.2
2-1	感知警報装置設置等級(自住戸火災時)		27	69	1	0		3	100	2	1.7
2-2	感知警報装置設置等級(他住戸等火災時)	-	5	0	27	65		3	100	4	3.6
2-5	耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部))	9	0	80	7			4	100	2	2.1
2-6	耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部以外))	9	0	4	2	69		16	100	4	3.9
3-1	劣化対策等級(構造躯体等)		14	23	49			14	100	3	2.4
4-1	維持管理対策等級(専用配管)		4	57	36			3	100	2	2.3
4-2	維持管理対策等級(共用配管)	-	86	9	5			0	100	1	1.2
5-1	省エネルギー対策等級		0	58	40	0		2	100	2	2.4
6-1	ホルムアルデヒド対策等級(パーティクルボード)	9	8	13	19	28		23	100	4	3.0
	ホルムアルデヒド対策等級(合板)	1	8	15	24	29		23	100	4	3.0
	ホルムアルデヒド対策等級(複合フローリング)	3	6	10	24	32		25	100	4	3.1
	ホルムアルデヒド対策等級(集成材)	4	13	6	15	25		37	100	4	2.9
8-1	重量床衝撃音対策(相当スラブ厚)	-	e 0	d 0	c 24	b 69	a 1	6	100	b	19.8 cm
8-3	透過損失等級(界壁)	-	0	12	80	0		8	100	3	2.9
8-4	透過損失等級(外壁開口部)	-	3	15	72			10	100	3	2.8
9-1	高齢者等配慮対策等級(専用部分)		96	0	0	0	0	4	100	1	1.0
9-2	高齢者等配慮対策等級(共用部分)	-	89	0	1	10	0	0	100	1	1.3

仮想性能評価を行った住宅の性能等級レーダーチャート



(補足) 耐震等級(倒壊等防止及び損傷防止) 耐風等級、維持管理対策等級(共用配管)、高齢者等配慮対策等級(専用部分) 同(共用部分)については、最多等級が1と他に比して低い。この理由は次のとおり。

- ・耐震等級、耐風等級は、建築基準法に準じているものが多いため。
- ・維持管理対策等級(共用配管)は、住戸専有部分内に共用排水立管があり、また共用の横主管の掃除口がない(10m以上の間隔で設置)ものが多いため。
- ・高齢者等配慮対策等級のうち専用部分は、玄関出入口の段差、手すりの設置(対策)なし(脱衣室、浴室出入口は9割以上がなし)、便所の出入口の有効幅員750mm未満が多いため。
- ・高齢者等配慮対策等級のうち共用部分は、共用廊下の手すりが設置されていないものが多いため。